

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-03-11

昭和38年度法政大学社会学部卒業論文目録

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

社会労働研究

(巻 / Volume)

11

(号 / Number)

1

(開始ページ / Start Page)

118

(終了ページ / End Page)

132

(発行年 / Year)

1964-07-01

昭和三十一年度法政大学社会学部卒業論文目録 (順不同)

第一社会学部

氏名 論文題目

天野勝文	東南アジアに於ける経済的独立について	新居英治	ラテンアメリカに於けるキューバ
安斉英雄	EECの現状	長谷川恵昭	アフリカ(サハラ以南)の民族解放革命
大木康守	アフリカの国際関係と中立主義について	飯島豊	現代中国の発見
大園満昭	社会主義と欧州共同市場	伊藤薫	イギリスと植民地
小川智将	南北ベトナムの経済開発	石井輝之	イギリスEEC加盟問題とそれに伴う諸問題
金子征弘	中南米の新しい風	桑原克之	アフリカの経済問題
小暮恭稔	南北ベトナムの諸問題	吉田正行	欧州経済共同体の発展過程とその実績
坂野彰男	インドに於ける政治経済の基礎	清水実	日本と中国の貿易
坂本昌禧	植民地の独立と社会主義経済	溝手嘉六	中国の経済建設と発展
永末弘勝	社会主義体制	湯沢秀男	インドに於ける産業経済と国際的立場
堀江純雄	東南アジア経済の停滞の本質	小泉正則	アフリカ
山根建一	ラオスにおける民族解放の思想と行動	豊田精勲	苦悩する東南アジア経済
吉沢紀三郎	南ベトナムの経済発展とその問題点	酒井与正	東南アジアに於ける共産主義
北岡芳幸	中南米に於けるキューバ	遠山文夫	中国の統一戦線
小河原栄	石油と中東の動向	羽倉正明	ラテンアメリカにおける後進性の本質とその課題の発展
古畑博正	アメリカ帝国主義とキューバ革命	小峰敏男	キューバ政治経済の歴史的発展
		松本孝厚	新興独立国インド
		山内勝美	日中貿易論
		高橋行雄	労働協約をめぐる労使の対立条項

平岩君雄	わが国における最低賃金制について
堀向和彦	最近の判例から見た団交拒否の正当理由について
宮内一寿	企業合理化と事前協議制
藤本恒雄	わが国重要産業に於ける労働協約の問題点
吉田茂	最低賃金制論
渡辺貞二	わが国の最低賃金制度
岩佐聰学	最低賃金制について
佐藤友信	懲戒権の濫用に関する一考察
森木清次	長期労働争議の実態と特質
木村堯彦	わが国に於ける不当労働行為の実態と労働組合の性格及び労使関係の再検討
中元英磨	中小企業に於ける不当労働行為の諸問題
前田昭彦	わが国に於ける最低賃金制
芦沢一重	労働協約に於ける債務的効力の一考察
近藤正孝	ロックアウトに関する一考察
佐藤好三	労働基本権の問題点
信清孝	わが国現行不当労働行為制度批判
藤井武彦	協約に於ける平和義務と平和条項
福永宏	わが国に於ける最低賃金制度の諸問題
武藤策洪	わが国における最低賃金制について
城戸英広	日本における労働時間短縮問題
竹内暁子	病院ストに関する一考察
酒井隆	労働協約の効力に関する一考察

野村実	中小企業における労働組合の結成過程
福田芳樹	現行不当労働行為制度批判
新井紀男	労働時間、特に公立小学校教職員の超過勤務手当支給の是非に関する一考察
山田征太郎	ロックアウトに関する一考察
早川和子	病院ストに関する一考察
丸山土等	労働協約の効力に関する一考察
奥野栄機	労働者の住宅問題
尾敷勝雄	中小企業における労働問題
山屋豊勝	日本の婦人労働者の歴史
和久井良隼	繊維業並びに繊維婦人労働者の職場意識の変遷
泉純治	中小企業における労働者の状態
今村宗達	”
泉芳栄	中小企業における経営層及び労働者の意識
小尾哲郎	中小企業における労働諸問題
佐久俊一	戦後における中小企業の特徴と役割
勝田康二	”
佐々木優	中小企業の労使関係
住友正恭	オートメーションと人間関係について
境一也	わが国の労働時間
田中幹男	中小企業における労使関係
白神稔	九州炭鉱業界の沿革と歴史
高橋昌敏	中小企業の労働者の賃金の実態

堀井勝彦	月賦販売について一考察
増田博則	日本の労使関係
増田祐三	中小企業における労務管理に関する一考察
三木章男	日本の農業協同組合
水谷富也	産業構造を通しての労働市場の動態
宮本俊雄	食品業におけるスーパーマーケットの進出とその影響
涌井康夫	中小企業の現状
山本雅彦	中小企業における労働者の状態
小野寺次男	サービス業における労働状態
豊田郁男	労働時間
奥田忠義	日本における臨時工の実態
小野寺宜定	自由化とその対策
金崎一郎	小暴力とその社会的背景
小荒井亮子	婦人労働者の意識に関する研究
鈴木沙恵子	〃
山本正夫	中小企業における雇用問題
西川寿一	現在わが国における労務管理
長谷川恵美子	青梅織物産業
志村時男	わが国海運業の変遷
山鹿貴司	労働移動の実態
荒木真	オートメーションと労働
大谷勝亮	原始社会における労働

浜野和弘	現代のビルラッシュと共に繁栄するビル清掃業界の実態
勅使河原征之	ホワイト・カラーについて
好地利彰	戦後のわが国の就業構造の変化と雇用問題
梶師巧博	広島県の清酒業界について
島田俊雄	郷土産業についての一考察
椎名義彦	わが郷土における農業史
砂田紀男	看護婦の諸問題
関口二郎	家庭電器と現代社会
中田孝	秋田県の林業と木材産業について
藤田勉	秋田県産米の考察
山崎篤行	東京瓦斯労働組合史
石懸義修	土方の肉體労働について
岩井武憲	広島のカキについて
木地孝嘉	林業と労働者
松田守弘	岡山県の青果の生産と経営について
山口勝久	熱海と観光事業について
栗谷武	信用補充制度
近藤信保	ガラス産業の変遷
坂本忠男	大正期の労働運動「友愛会」について
三沢孝明	本場甲州ブドウの栽培
安原隆	秋田における石油資源
篠田悦男	わが郷土の醤油の歴史

平野新治	日本と米国を中心にしたチェーン・ストア
北上利昭	日本産業における雇用問題の影響
平野林四郎	日本鉄鋼業
今吉義昭	中小紡績の実情と労働事情
志賀義弘	紀州蜜柑の栽培と季節労働者
松丸昌男	変貌する千葉県の社会と教育問題
熊谷正利	建設業の労務関係
関根正	アパルト経営の沿革とその実態
吉田勝雄	岡山のい草・い製品の流通状態
草野友勝	博多織の沿革と現勢
北村清彦	労働環境における空気調和の諸問題について
清水賛一	週六日制と週五日制における労働意欲と作業能率との関係
片岡守	「K工場」における婦人労働者の実態的調査研究
木村隆盛	中小企業における婦人労働者の実態調査
林淑治	中小企業の労働環境
去来川征満	労働時間の歴史とその現状
江口真	労働災害と造船所の実態調査報告
貴嶋昭夫	某電気会社、アンケート調査による自覚症状の一考察
蔵持勲	隔週五日制と労働の機械化
内藤平章	電機産業労働者の訴える諸症状からみた工場疲労問題
永山英毅	某電機製作所における労働環境の現状と疲労について

野村稔	週五日制に関する一般的問題
三宅捷夫	中小企業機械製造業における労働者の実態調査
加藤繁	造船労働者の実態調査及び発汗に伴う影響
佐々木英昭	中小企業機械製造業における労働者の実態
福島悦朗	乗用昇降機乗務員の疲労に関する調査研究
田口義治	造船労働の実態についての一考察
江口恵子	キー・パンチャーにおける疲労問題の事例研究
大橋興生	高温作業環境における作業員の疲労調査
常川秀夫	製鋼所における二交替制と工員の生活、昇降機運転者の疲労に関する研究
荻莊大裕	中小企業における労働条件労働環境及び疲労実態調査
中野康彦	週五日制その動向と疲労
糸井輝夫	資本主義的農業生産への展開
小林盛雄	農業経営の企業化
石原智章	北海道農業総論
伊東祐一	資本主義の発展と農村人口
海老沢由高	日本農業と農民の動き
小代巖	香川農民運動（伏石事件）
海見敏行	わが国の農村は今後どうあるべきか
神谷宏	農業共同化の動きと農業法人化問題
木原衛	石岡市における工場誘致と農業問題
小松崎糾	農業問題の主要課題について
清水保重	

鈴木 聡	千葉県における内湾漁業と工場進出
清水 浩	酪農経営の問題点
難波 修	農業の共同化のあり方と将来
日野 博	北海道十勝の農業について
山際波留寿	農業共同化の考え方と進め方
芦田 敏武	転換期農業の主要課題
野崎 隆夫	戦後の日本農業の変化
熱川 富夫	農村の諸相と今後の農業経営
小谷野好之	近郊農村における労働力問題
高橋 延治	日本の農業形態とこれからの農業経営
瀬川 知紀	EECとその農業政策
松原 圭介	わが国の農業制度について
斎藤 護	わが国における農民運動
土橋 明	農業構造政策について
村上 勝孝	わが国酪農に関する考察
福住 武	日本農業の共同化について
奥向 孝行	農業政策について
田島 健作	ゆきづまった農業
茂田 勲	農業基本法に関する一考察
中島 芳夫	日本における戦後の農業政策
菊田 一哉	農業協同組合の歩み
古川 裕一	変わりゆく農村

明嵐 紀雄	明治初期の農民運動の歴史
角田 昌美	農業近代化と共同化
古野 弘	富山県の米騒動
鷺田 洋	日本農業の問題点と近代化
岡 幸男	農地改革後の地主の実態
小田 昌宙	農村における共同経営化
佐藤 泰蔵	変動する農村
戸浪 敏直	日本農業の実態と今後の課題
矢野 光昭	今後の農業の進む道
川村 靖夫	食管制度下の米価政策
桑原 和典	日本農業における共同化の問題
矢野 定雄	農業の商業的分化
橋本 真二	戦後における兼業化傾向の実情
岩堀 収右	日本農業の将来
栗本 陽男	日本農業と経済
中原 康隆	日本の製糸業
佐々木 敬之	農業人口の移動と農業構造の変遷
丸木 一寛	農業共同化の現状
藤川 泰	日本漁業の経済構造の変化
山本 紀男	日本農業と農協の共済事業
若林 澄	農業における潜在失業
笠原 勝利	イギリスにおける農民層の分解

野田雄三	八戸の水産業
小林一也	日本農業の機械化
喜多村栄一	機械化による農業生産向上について
北原昌克	現今農村青年の離農問題の一考察
安藤彰	農業近代化
呉載煉	日本農業の実態
小栗淑子	長野県小県郡塩田地方における溜池について
笠見正彦	農民層の構成と農夫のサラリーマン化
山口肇	農地改革
高橋一芳	激動続く新潟の農村
大野雅之	地券
堀江輝彦	千葉県農業の現状及びその対策について
前野尊彦	農業と山村における封建的色彩と迷信
寺岡厚一	日本農民層分解の一考察
斎藤良史	構造改革論批判
只野捷也	日本における独占資本の形成過程
森永英樹	労働時間短縮問題
和田文秀	発電所におけるオートメーションの研究
岡山英樹	労働者階級の状態
秦信一郎	第一次大戦から第二次大戦までの日本における諸恐慌の考察
折橋徹也	電産型賃金体系について
紀伊園達	中小企業の賃金

車田力也	一九二九年恐慌（日本）の分析
中島守	日本資本主義の歩みの中でとらえた演劇
網屋繁子	綿紡十社賃金引上げ闘争（一九五五年十月）にみる女子繊維労働者の歩み
清野清孝	日本経済の二重構造
鈴木元夫	戦後教育労働運動史
井山孟	日本帝国主義の下における在日朝鮮人労働者
三井田盛明	わが国における失業の歴史的考察
渡辺克	自動販売機の歴史と将来について
坂東正義	戦後日本の労働運動史
鈴木征男	わが国の賃金問題の特質
成田昌司	日本における賃金問題の考察
神谷広	自由化と日本の自動車産業
梶原昂	国際競争対策としてのわが国石油化学コンビナートの考察
木下喜雄	中小企業の発展について
奈良保典	わが国の機械工業におけるオートメーションについて
牧野功	労働管理の発展と変貌
三尾義昭	労働管理について
森武司	日本の自動車工業について
湯谷弘	北海道林業の推移と内容について
渡辺宗嗣	マーケティングとしての販売促進活動
塚田博美	中小企業における近代化の動向
梶谷昇	マーケティングについて

富田剛史	日本のコンビナートについて
野口典子	足袋産業の生成発展とその将来について
渡部孝治	現代独占企業の人事管理
黒田正寿	現代景気循環論の回顧と展望
高崎一弘	わが国の金利政策とその体系について
寺尾季余子	日本及び静岡県における罐詰産業の変遷と現状分析
井口秀一	貿易自由化と日本の貿易市場構造
菊田政博	商品流通機構の研究
北村秀樹	独占資本の中小企業に対する系列支配
幸村捷一	近代経営の体系における人間関係管理
桜井真務	商店のセールス・プロモーションの進め方
渡嘉敷武雄	戦後における繊維産業について
松山孝雄	貿易自由化の実態とそのしわよせ
森紘二	近代経営における合理化と人間関係の諸問題
太田庄俣	卸売業の歴史的発展と流通革命からみた将来
国島直幸	独占資本による中小企業の系列化
諏訪修	自由化の影響と国内態勢について
杉山好弘	わが国の石油産業の現状と将来
寺島慶太	資本主義経済構造の分析
藤森卓	マーケティングについて
角掛和吉	蘆溝橋事件前夜における対中国侵略政策の展開について

布施幸子	日本経済転換期における硫安工業の企業分析
梅原泰一	開放体制下の日本経済について
増沢勇	戦後の景気循環と固定資本更新
副島圭二郎	EECを繞る仏と米英の葛藤
糸園忠雄	現代日本の独占資本の現状
若槻達	使用者懲戒権
窪島宏明	最低賃金制度における一考察
鎌田文二	労働時間短縮問題についての一考察
林繁	オートメーション企業における労使関係
右近宏三	争議行為の正当性の限界について
長谷川健	合同労組の組織と運営上の問題
山崎忠征	中小企業における労務管理の諸問題
北野幹雄	ILOと国内労働問題の關係に関する一考察
野村剛弘	ロックアウト
高野正夫	ピケッティングの研究
小松紀男	宗教と労働問題
斎藤征四郎	判例にみる争議行為の正当性について
関進明	技術革新と賃金体系
安田利晃	低賃金と労働時間について
高村和紀	政治的要求を目的とする争議行為論
大崎淳人	解雇
伊藤公雄	中小企業の労使關係

吉田 稔	わが国の労使関係における諸問題
奈良俊二	賃金の本質とは
佐野孝義	戦後日本の自動車工業の歩み
小野哲圀	中小企業問題としての輸出縫製品業
古川育男	マルクスの「資本制的蓄積の一般的法則」と窮乏化理論
高野洋一	植民地体制の崩壊とその国際的影響
滝川光司	経済の形而上学的考察
島田正一	資本主義における株式会社機能
浜田昌治	経済成長における諸問題
沢田昭代	青梅織物産業
桜井庄次	国際石油カルテル
安達靖二	二、二六事件
池田宗弘	十九世紀の英国政党组织の近代化
笠原了	吉野作造氏と民主主義
狩野幾久郎	明治憲法と伊藤博文
中村文彦	仏革命時におけるイギリスの保守主義
守山哲夫	中小企業の特質と賃金問題
高橋紀典	ナチズムの成立
楠正親	犬養毅
佐藤豪	小林多喜二の思想
沢本幸忠	大都市化問題に見る独占資本主義
若宮優登	原敬と政友会

飯沢 祐	植木枝盛の国家観
水口 進	日清戦争における一考察
森誠之助	幸徳秋水の社会主義思想
高瀬一嘉	戦前と戦後の憲法
佐藤鉄也	原敬
竹山典昭	孫文と三民主義
中島九一	最後の元老としての西園寺公望
加美越生	教師論
川端勝宣	山川均の組織論
長谷川鈴子	吉野作造と民本主義
井上 甫	二、二六事件前夜
大橋 弘	日本社会党小論
土手高幸	明治維新論
野上俊行	現代日本の官僚制
平原章伍	わが国における賃金の将来
森尻和男	近代広告の消費生活における一考察
上野光一	伊藤博文と明治十四年の政変
中島昌子	片山潜
大西 捷	非行少年論
満田熙子	昭和初期の統一戦線と山本宣治
古屋啓三	国際貿易と資本輸出
上垣内清	アメリカの対外援助

中島勝己	東南アジアの発展の現代的課題
蓮浦正俊	東南アジアの民族解放運動と民族民主国家
河合恒生	進歩のための同盟
岩崎秀雄	植民地主義
及川鉄彦	ビルマの社会主義と中立化
神岡弘二	OECDと日本経済
北風邦義	南ベトナム
小島淳一	東南アジアの経済構造と開発の根本問題
志賀清躬	ラオス問題について
菅原晴一	アメリカのアジア政策
杉本義夫	アジア・アフリカと世界平和
鈴木智興	社会主義社会の中のソヴェト人民
柘植清治	世界政治とアジア
鍋谷佳紀	戦後の日米関係とわが国の政治
山口浩	植民地主義と民族解放運動
山口健四郎	アメリカ帝国主義のアジア政策
三藤伊三夫	新植民地主義と外国援助
河野滋	現代化学工業の合理化問題
山崎正芳	アフリカの独立と帝国主義
斎藤正	アジアの民族主義と植民地主義
佐々木勝	アルジェリア問題
清水卓治	アジアにおける民族主義の一考察

竹谷剛	植民地体制の崩壊
成瀬海一郎	日本における社会主義運動の発展
新倉明	ラテン・アメリカの歴史
熊谷良隆	新植民地主義の本質
三橋洋司	人民公社
武智達	ラテン・アメリカにおける解放運動の歩み
旦丘耿一	平和共存の今日的意義
小俣勲	山梨県大月地方の織物工業史
亀田興平	帝国主義論について
角洋一	現在における都内観光施設の実態と分析
林次郎	イギリス毛織物工業におけるマニユファクチャーの展開
御園生忠弘	日本における産業資本の確立
宮沢正彰	中小企業はいかにしたら成長するか
宮野満夫	イギリス初期資本主義
渡辺晴之	EECの実態
北地敏光	二重構造とは何か
中橋善就	工業資本主義
山本光汪	欧州共同市場の現状
浜田関雄	現代の資本主義
根岸正	戦後の日本鉄鋼産業
堀江彰	戦後日本の労働運動
出島満昭	最近における日本農業経済の動向

丸山隆作	現代財政政策への考察
秋葉豊稔	貿易自由化と日本の経済成長
石原克彦	貿易の自由化と日本経済
茅野貞夫	日本資本主義経済の二重構造について
雉子島宗明	千葉県における現在の観光事業
小林敏博	戦後わが国の国際收支構造の変遷と開放経済体制下における国際收支政策について
佐藤佐	中小企業における組織化
高橋広光	中小企業における下請制の諸問題
辻本豊晴	日本経済の二重構造について
当間真太郎	高橋是清の景気回復政策
藤井喜三郎	わが国の中小企業の体質改善
藤田功	日本資本主義の特殊性と農産物価格の形成
松崎孝重	日本における製造中小企業の現況と将来性について
柳沢英夫	貿易の自由化と自動車工業
山崎俊男	日本のコンピナート
成島道基	中小企業における経営管理の近代化
樋泉智男	明治維新における日本の租税制度
宮野精一	日本の公的扶助の検討
佐藤良平	日本農業に及ぼした戦後農地改革の影響
伊藤亮介	中小企業の存立条件と成長の方法
園田清治	明治前期における殖産興業政策と資本蓄積

昭和三十八年度法政大学社会学部卒業論文目録

横井邦雄	企業資本構成改善のための社債流通市場必要論
伊藤紘	日本における産業資本の形成
太田浩	租税負担の公平について
金子彰	日本における社会保障の形成
村田博康	昭和三十八年度経済白書批判
神野忠勝	わが国の道徳教育について
川合時男	福沢諭吉の思想
笹川守雄	時代閉塞における啄木の社会思想の問題
富永栄治	大将乃木と武士道
中島孝康	近代以降における日本の宗教と社会との関連
山本孝之	生活綴方運動
新井富雄	社会主義歌人石川啄木の生涯
下島敏夫	詩史にみる近代から現代への変貌
三須弘二郎	明治維新史研究
岡寿美夫	日本の家元制度の研究
青井慎介	新興宗教の発生と歴史
小林尚武	民主主義の発展と女性風俗の変遷
坂本幸雄	新劇史
佐藤正夫	予備門時代から「猫」までの夏目漱石
田中益雄	宗教と政治
長沼康友	わが国労働時間の歴史と現状
花本政実	日本映画の歩むべき道

原田裕久	明治維新と長州藩
本多正	明治維新前後における国民精神の展開
真木忠義	都市の自動車交通の混乱と解決策
梶原礼之	戦後詩運動「荒地」について
藤崎智久	武士道の思想
磯部和孝	近郊農漁村の社会学的考察
大村益道	福沢諭吉の思想
小川益代	扇の文化と社会的側面
恩田誠二	明治絶対主義確立における日本啓蒙思想の役割
駒形暉	不平等条約とその改正運動
山本勝代	大衆芸術—浪花節
林迪彦	北一輝の国体論の一考察
田中進	「マルクス主義論争」(サルトル—ルフォール)に於けるサルトルの思想
新井亜夫	商業放送における広告とその効果
渡辺勝彦	黎明期の労働運動と片山潜
古後伸行	中小企業における労務管理並びにそのあり方
沢田紀雄	宗教改革の社会的意義について
西本一智	組織論
妙円蘭修	大衆社会における音楽の位置
川口常己	アジアにおける民族運動
上田敏夫	小集団研究試論

斎藤宏	都市における特殊集団形態
関屋勉	昭和初期におけるファシズム教育について
丸橋一夫	大正期の教育
岩城利光	アメリカ南部におけるプランテーション
川崎勝夫	家族制度における女の地位について
鈴木誠治	フランス革命の諸原因
船橋賢治	文化社会学論
村上重美	ヒューマニズムの系譜と疎外論
徳永純	戦後の日本人色
中村豊	部落問題
川越輝臣	農村問題
上村昌毅	科学労働者の平和運動
太田正紀	資本主義における体育スポーツ
倉林恒次	新聞大資本の攻勢と地方紙の擁護
富沢由剋	芸術労働論
保科衛	教師—その仕事と授業についての一考察
水野忠昭	戦前「民間教育運動」の展開
山下征彦	総合技術教育について
五十嵐愛	職業婦人論
菊地日露子	職業婦人論
秋田喜美	職業婦人論
大塚誠治	事務労働論

熊谷 紀子	精神薄弱児教育において職業労働教育の果たす役割
真野 緋佐子	日本における集団主義の理論と実践
佐藤 至孝	美術の創造者と享受者
平川 俊彦	ゼミナール活動の理論
南 一征	総合技術教育における社会科の役割
渡 辺 允	知識人論の方法論的検討
福 原 徹	合理化と日本の看護婦
富岡 英世	合理化と日本の看護婦
今泉 博之	日本の中小企業労働問題について
椎名 忠雄	マス・レジャー論
相馬 建造	一般意味論
三 階 徹	「経済学・哲学手稿」における「人間主義自然主義」について
村 田 照夫	芸術労働論
飯 田 哲也	危機における人間の条件
中 島 彬江	現代におけるサークル活動
宮崎 武四郎	労務管理の日本の特色
吉 田 重雄	現代の考察
金 子 宏	産業社会とわが国の産業社会学
川 畑 晴映	マンハイムの一考察
芳 賀 俊朗	スポーツ集団と社会
高橋 弘明	僻地農村の社会構造
伊 藤 働	日本経済の構造と今後の課題

葉 山 夏樹	日本型賃金形態論
藤 方 哲彦	所得格差の研究
三 浦 篤夫	産業組織における人間関係
峰 元 成美	大衆化と社会構造
桑 山 滂子	農村の社会構造
山 崎 紀夫	わが国官僚政治家の派閥意識
伊 藤 進国	社会的行為の理論
梶 原 康男	今日の流通革新
斎 間 熙子	現代文化の特質
須 賀 孝一	経営組織内における人間関係について
田 中 徹	技術革新と近代化の問題
角 田 有久夫	非行少年の研究
新 田 清子	婦人運動史
野 沢 直司	社会的不適応行動の本質
堀 江 博子	戦後日本における女性と社会
松 田 宣彬	オートメーションの社会的影響
森 田 勝治	商業広告の社会的機能
渡 辺 源樹	EEC
渡 辺 嘉郎	マス・メディア論
保 土 田 政子	柳田国男試論
菊 田 和之	うたごえ運動の検討
斎 藤 光弘	人間と自由

秋山 育彦	日本映画の現在の位置と今後の方向	青山 洋司	消費者と広告
伊豆山 和夫	週刊誌と社会的責任理論	緒方 巧	テレビ時代
江原 富夫	消費者と広告	佐々木 他三男	広告媒体の研究
小野 誠司	週刊誌の世論形成に与える影響の考察	杉山 栄次	テレビ時代におけるラジオの新しい方向
菊地 友勝	日本映画史	玉置 紀子	現代におけるCMソングによる児童への影響
佐野 紀一	キーバ危機における三紙の報道の比較	山下 靖	広告発展
中井 泉	ラジオ・テレビにおける社会的役割と責任	山代 秋夫	FM放送および放送に関する若干の問題について
福島 孝	独立プロ運動	高坂 侑	有線放送の普及と社会的機能
堀井 寧夫	広告と生活	田畑 久光	プロレタリア・ジャーナリズム運動における自然成長論批判と弁証法的発展
武捨 四郎	現代の商業広告についての考察	木下 満恵	テレビと子供
柳沢 昭吉	農村における社会的コミュニケーション	岩東 武紀	流通革命とスーパーマーケット
森 隆	社会的責任理論における一考察	岩 堀 正敏	現代社会における新劇の問題
稲垣 光繁	学生放送における学生らしさとは	小野 寺信行	現代都市高校生の社会価値観
志賀 正子	マスコミが与える影響	郷久 保博	戦後日本人の生活意識と行動
土田 利光	週刊誌におけるヒューマン・インタレスト	斎藤 文治	都市問題の現状と将来の展望
藤井 春雄	週刊誌における企業分析	杉江 弘孝	小売商店及び商店街の現状考察
堀江 荒一	日本の週刊誌の歴史	逸見 一郎	都市の住宅問題
吉沢 哲雄	マス・コミュニケーションの責任と週刊誌の功罪	牧野 賢三	日本の近代化とキリスト教
奥野 英夫	映画の商業性と芸術性	石田 京	現代都市高校生の社会価値観
久保 智資	アメリカにおける人種差別	臼井 茂由	流通革命と消費者
高橋 恒美	商業新聞のもつ中立性進歩性とは何か	小須 賀均	都市交通展望
森川 杏平	小スポーツ新聞社の分析	金野 健哉	三陸海岸の漁業実態調査

寺谷敏克	一般社会から見た団地社会意識の研究
越川敬	北海道における観光の社会学的研究
上原正親	現代の青少年に関する飛躍について
佐藤礼次	思想決定における飛躍について
菅宮清	大衆芸能にみられる庶民の意識
渥美昇	企業と人
石川光雄	都市の下層社会
石沢詢	中産階級における大衆レジャーの理論の実態
小泉正義	都市計画への一提言
佐野勲	都市と犯罪について
塚原稔	現代と人間
内藤好二	地域社会の構造分析
藤幹夫	テレビ時代
藤瀬昭雄	家族という集団について
渡辺忠勇	交通の発達に伴う地域社会の変容
高林昭夫	階級社会と国家
斎藤滋	世論と新聞
石島真一	現代におけるマスメディアの二面的性格
石田郁	農村と読書
小林公夫	現代の商業新聞—歴史的に見た近代新聞
比留間明男	マス・コミュニケーションと大衆社会
八木康弘	日本の新聞の発達史

昭和三十八年度法政大学社会学部卒業論文目録

井上功	わが国の映画産業の現状と対策
岩田弘	無意識的欲求—否定される意識—
内田裕久	日本の無声映画の成立
菅井直秀	地域社会の工業化と農業の変貌
金子秀男	戦前戦後における日本映画の内容分析と制作の変化
関根可章	新聞の社会的機能
萩原一男	日本の新聞の歴史
秋山昌雄	新聞産業の合理化
板倉新	明治期におけるコミュニケーションの推移
大友喜夫	新聞の自由とは何か
奥平利勝	日本軍国主義とマス・メディア統制
高松一弥	テレビの児童への影響
宮崎智康	新聞におけるニュース

第二 社会学部	
久保田三千春	新植民地主義について
玉木千之	世界経済の下における資本主義発展の史的考察試論
赤石基	新植民地主義の若干の特徴と史的分析
向井正	民族解放運動と社会主義体制
古川富士夫	現代における新植民地主義について
裴鐘翊	韓国軍事政権下の経済現況と批判
川崎剛	世界経済と統一市場分析

松下国雄 ILO第八十七号条約の問題点

伊藤菊太郎 わが国における合同労組の諸問題

市川学 労働協約と就業規則との関係について

松村豊邦 不当労働行為制度の一考察

花咲清康 公務員の労働関係法上の地位

田中久博 交通事故

池田美子 男女の同一労働同一賃金に関する日本的諸問題

岡村哲雄 わが国の賃金構造と体系の実態

菅沼光二 十九世紀から二十世紀にかけての労働時間の変遷

沢部一雄 日本の社会保障

奈良孝一 小河内部落とダムについて

常盤知暁 戦後の農民運動理論における基本問題

小山陽三 現代日本資本主義の農業政策

新津せつ子 価値論

山岸紘子 現在における流通経路

榎本秀夫 |高度成長政策下における人間関係とその技術についての一考察

坂田光義 日本における流通革命に関する考察

千倉芳郎 新製品の市場開拓

助川勲 日本の畜産(農地改革後の畜産)

本間宇瑠美 現代の広告について

坂下敏雄 流通革命と繊維業界の若干の考察

和田昌樹 職務給に関する若干の研究

染野国捷 打球業の一端

北畠良隆 貿易の自由化と日本経済の影響について

山田均 日本の農村社会を概観する

福田和子 足尾銅山争議と大正時代の労働運動について

神谷肇 労働青年とその教育

浅野和子 教科書出版についての一考察

小泉桂子 |その資本と労働| 母親大会にみられる婦人運動と反婦人運動

徳田隆士 体育スポーツと人間形成

犬塚尚孝 評論|第二の海軍

上原京子 東京都小平市の地域自治会に関する研究

朴光洙 在日韓国人の史的考察と今日の問題

岩佐英昭 現代社会と人間性

平川千宏 芸術の社会的効果

清水保 大東亜共栄圏の通貨政策

山口敏 日本経済発展における教育と教育費の問題について

土橋勝男 税制改正の考察と現行税制の問題

伊藤良雄 現代日本の社会保障の展開

寺嶋輝夫 |生きるための権利とその保障| わが国における今後の公益事業対策と予算

重松弘巳 防衛予算の概況

林田潤 日本における手工業者の存在形態

佐藤三郎 日本社会保障制度についての一考察|特にアメリカ・イギリスとの比較について|